

発 言 通 告 書

発言者氏名	田中洋次郎
発言の会議	平成30年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 農福連携の取り組みの現状と今後の展望について

- (1) 横須賀でスタートした農福連携において、障がい者が本当の戦力となる手法に取り組むことが必要と考えるが、市長の見解を伺う。
- (2) 本市における農福連携について、市長の具体的な思いを伺う。
- (3) 福祉部を窓口としてスタートした事業であるが、全国初の農福連携横須賀モデルを進めるためにも、経済部等の関係部局とも協力しながら総合的に取り組んでいくことで、より高い効果や価値を生み出すことができると考える。市長の考えはどうか。
- (4) 誰でも参加の機会が得られるユニバーサルな働き方は、農業に限らず他の分野でも活用ができると考える。今まで何らかの理由で社会参画ができなかった方々に活躍の場を提供することは、まさに「誰も一人にさせないまち」につながるのではないかと考える。市長の考えを伺う。

2 健康寿命を延ばす取り組みのさらなる展開について

- (1) 健康を維持し、快適に暮らしていくことは、自分のためだけでなく、支え合い、「誰も一人にさせないまち」を目指すに当たって重要な観点であると考えているが、市長の受けとめはどうか。
- (2) 「読書」での展開について
 - ア NHKの特集番組で、いつまでも元気に暮らすための鍵は「読書」という内容が放映された。市長は、読書が健康寿命を延ばすということについてどのようにお考えか。
 - イ 読書への興味、関心が高まると、図書館の存在が大きな鍵としてクローズアップされてくる。図書館をふやすことは難しいものの、もっと多くの人に利用をしてもらうために図書館のあり方に対する工夫はいろいろできると考えるが、市長の考えを伺う。
 - ウ 他の自治体では、ビジネスを支援する取り組みを行っている図書館もあると聞いている。図書館にワーキングスペースの機能を持たせるような取り組みについて、市長の受けとめはどうか。また、本市での導入について、市長の考えを伺う。
- (3) 予防歯科での展開について
 - ア 市として市民の歯の健康をどのように考えているか。
 - イ 将来の医療費の支出が軽減されるのならば、予防歯科の拡充に係る支出は、非常に有効な投資だと思うが、市長の考えを伺う。
 - ウ 子どもの予防歯科だけでなく大人の予防歯科も充実すれば市民の健康増進だけでなく、予防歯科に対する市の取り組みを広くアピールすることができる。市としてさまざまな取り組みを導入してはどうか。また、国に対して、全国的な制度や取り組みとするよう提案することなども一つの試みになると思われるが、市長の考えを伺う。